

日刊 一發行部編輯人 川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番） 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤日報新聞

（一）部金貳拾 廣一五號十二 料一五字一十 日一休 日曜大 日一休 日曜大 日一休 日曜大

七月七日夕刊

帝キネマキノ映畫

有聲座

八日

胃腸 専門 内科 腸十二指腸 淋病 婦人病 梅毒 専門 皮膚科 性病 淋病 梅毒 専門 皮膚科 性病

松村病院 町南平

電話七〇一

◆帝國キネマ演藝株式會社 製作、美男明石、市川寬十郎、中村勝三郎、市川花扇助演

夜叉公子

十三卷上 映

或る夜半中納言邸を襲つた夜叉公子!! 其處には激しい亂闘が嵐の如く起つた

説明 丸山東州、富岡春朝

◆マキノ現代劇部作品◆

荒木忍東郷久義主演

漂泊の人

六卷

流傳 漂泊の人

我子の地位名譽を思ふ時、科者の父として名乗りいらりようか... 哀れ父親は又も涯なき浪泊の旅へ...

説明 林樂遊

◆マキノプロダクション◆

▲ロケ特作 關根達發獨得悲壯劇 河上君江、小宮一晃

天野及一、森肇助演

愛慾 勝てば官軍

西の南の役... 大道辰多は十年此の方劍を捨て、佛師に精進した時恰子息欽三郎官軍に追はれて歸る骨肉の愛に堪へられず遂に父は起つた

三池傳太だ... よるなさはる... 三池傳太が血を吸ふぞ

説明 町田秀誠

琵琶 大原錦陵

土に親しめ

小出満二

農村振興と云ふことは現在の我國に取りて最も緊急を要することであるが爲めに農林省にありてもその經濟的生產的方面を考慮して種々の方法を講じつつあり例へば小作法の制定、組合の振興、資金の貸與等がその最も主なる施設となつてゐるが、乍ら農村振興は留まるものではない、農村振興を考へるには先づ農村の衰頹と云ふ原因から考へて見なければならぬ農村が衰頹してゐると云ふてゐるが現代の農村を昔日のそれと比すれば確に進歩してゐると云はねばならぬ、例へば一反歩の收穫において種々の機具や設備に於ても又その收穫の賣上高に於ても等しく進んで居り昂まつてゐるのである然らば衰頹の原因は何處にあるかと云へば收穫とは生産とか云ふものよりも寧ろ消費の方面であらう尤も消費と云つてゐる中には農具とか肥料とかの如き必需品もあるが徒らに都市生産などの影響をうけて非常な華美に流れとてゐる事は否定し難い處である故にこの點から考察して行けば當に生産的經濟的方面からのみでなく精神的方面から農村の精神を確立して現代文明の如きヨーロッパの資本主義的傾向を一新して全人的立脚點から土に歸り土に親むと云ふ精神を樹立する事が必要となつて來ることゝ農村教育の本義がありこの本義に立脚して右の生産的經濟的方面を尊重して行けば農村の振興は期して待つべきものがあるであらう精神の樹立しない處には如何なる企てを試みてもその効果はあり得ないと云つて強ち過ではない

本邦噴霧器界の權威

舶來品に優る堅牢無比

牛田式噴霧器各種

理化學研 果樹蔬菜消毒藥 究所新製 ネオトロン 原藥

新入荷 石灰窒素肥料

ネオトロン、石灰窒素説明書御申越次第進呈

西村屋藥舖

平町二丁目 電話三番

貸家案内

平町新川町十七

商店向 月一九、〇〇

疊建 具水道附

中野勇吉

新川町 電話一三三番

大存と共榮 簡易の△絶へず會員を募ります△何時でも申込下さい

大共 磐城無盡商會

許免誠 △本社平町中丁一四 △支店平町中丁一四

注意と堅實 趣味の貯蓄

霜降小倉 學生服大特賣

小學用

六七歲位 一、二〇

八九歲位 一、二〇

十歲位 一、三〇

十一二歲位 一、四〇

十三四歲位 一、五〇

中學用

二圓二十錢ヨリ各種

なかや洋服店

平二丁目（電二〇三）

美味 評判

イロキ食堂

平町紺屋町（縣社通り）

オの部電話四六〇番

中形浴衣陳列會

六月十日

涼美粹

レリオン製

縮緬縹襟二十八錢

アミ衿 十六錢

女袖 四十錢

中野吳服店

電六七番

修繕ト鍍金

扇風機 電動機 變壓器 修繕

諸器の鍍金及つやだ

右最も親切丁寧迅速に尙御通知次第出張致します

平町七丁目

正金商會

靴とカバン 革製具類

特に學生靴の耐久力を御使用の上御試し下さい

平町搔槌小路（役場前）

福山靴店

飲むとすぐキク

クノ一散

齒痛、神經痛、頭痛の特効藥

平町各藥店に販賣す

試みられよ、

御料理 御酒其他大勉強

御宴會壹圓より

勉強親切なる事東北一是非御試めし下さい

平町松ヶ岡公園池端

割烹 と き わ

電話二二六番

敷島のヒヨケ心を人とは、商品ほごに日や雨の覆ヒヨケ、シート、テント 敷島ヒヨケ店 警城平町白銀町九

平町の陪審員 有資格者調べ

約二千八百人見當

陪審法は愈々來年度から實施されるので平區裁判所では陪審員候補者選定の任にある平町役場と連絡をとり有資格者調査及び名簿作製に忙殺されてゐるが平町のみの有資格者数は約二千八百人見當と見られてゐる

平刑務所 不要敷地調査

福島所長來平

既報平刑務所不要敷地拂下げ及び刑務所建物改築に關し長谷川福島刑務所長、司法省濹谷警務技師昨日來平種々調査中である

平町に 國本社支部

近く發會式

國本を固くし國体の精華を顯揚するを以て目的とする國本社は現在平町に廿餘名の會員を有して居るが近く會員を募集して百名と爲し支部を組織して發會式を擧げると因に入會申込者は平警察署長櫻村慶氏宛申込まれたし

早い秋蠶掃立

三坂澤渡地方

石城郡三坂澤渡地方の初秋蠶掃立は毎年煙草耕作及秋冷の早く襲來する等の事情に依り郡内他地方に比し著

夏蠶の掃立

豫想枚数は約千五百枚

石城郡地方に於ける春蠶は豫想通りの收繭を見たもの、繭の取引が七十圓臺を突破する事がないために豫想外の純益を擧げる事が出来なかつたので一般養蠶家は春蠶に引續き夏蠶を掃立準備を開始した來る、十五日割後が掃立盛りで山間部では既に掃立を終つた由であるが、掃立豫想枚数は千五百枚位で昨年の一千三百枚に比し約一割増しの見當である

伝染病は 昨年と同數

平町の注意

平町役場では時節初夏夏季衛生に關する注意が必要である爲め注意事項を印刷に附して一般に配附したが衛生主任の佐藤玄太郎氏は語る『本年一月以降の傳染病發生數は腸チブス九名であつて昨年と同數、赤痢も一名

健康保險が敷かれ 病人が急に八倍

磐炭のみで一日千人以上

常磐地方の健康保險施行による傷病患者の増加は從來に比して八倍に上り同縣内郷病院外高坂及び綴の兩分院現在一日の患者總數は勞働者のみで一千人以上に達し之れを約七千人の勞働者に對する百分比十五人弱に當る

消火栓協議

火防組合長を 平署に招集す

平消防組には來る十日午後三時より各區の消防組合長を招集し消火栓使用方法に關し協議を爲す由

夜は唄歌ひ

下スキの駈落

平町仲町女髮結笠原ミツ方下梳湯本町大字湯本政次郎



家庭欄

古い蚊帳の洗濯

充分洗つてから二三度ゆすいで絞りますに竿にかけます。それから水をさるやうにするのです、別に盥に

ふ云ふ時に猛烈な勢を揮ふ事になりますからお互ひに注意が肝要と信じます云々

海軍事務打合

平署管内兵事主任は明八日及び九日の二日間に亘り平署に參集海軍召集事務打合せを行ふ

海濱校を開催

會津高女生徒有志は七月下旬からの一週間小名濱で海濱學校を開催する由

兎の耳

男女が判らない赤兒、山形縣新庄町十日町農神藤周治の妻りつ(三)は六日午前三時ごろ同町鈴木醫師の手で未だ學界に見ざる奇形兒を難産した産兒は手足共に普通以上の發育であるが生殖器と認むべきものなく男女の別も判明せずその上でん部が總身の三部以上の大きさに垂れ下つてゐる同醫師は來る十七日山形市に開かれる中央醫會に持出し研究資料にするとの崎形兒は四時間後に死亡したが母は無事である

平町の商人

三河島の斃死体

六日午前零時六分常磐線三河島、隅田兩驛間の四號踏切を田端驛行貨物列車二七二號が進行中商人體の男が飛込み自殺を遂げた、係官が檢視すると男はこん茶銘仙の着物を着て懷中に四圓在中の財布の外に名刺には鹽基性の染精青竹をぬるま湯で溶いて、その中へつけ染なほすのです、

赤い線布は同じやうに別にざつと洗つてから赤の都染の染料をぬるま湯で溶いて染込んで下さい、此の場合合餘り濃く溶くのは考へ物です少々薄いと申つても赤色は中々濃く染まるもので

夏枯れと炭礦界 決して悲觀を要せず

昨年比べて貯炭高激減

支那への送炭順調

御難續きの常磐炭礦界が愈よ今度は夏枯れ時期にブツツカつて果して如何なる景況を 持續し得べきやは其の一進一退が直接間接を問はず平町に種々の影響を來す關係を持つて居る事から考へても大いに注目に價すべき問題であるが某消息通の談に依ると必ずしも悲觀すべきものではないとの事である、即ち現に昨年比べて貯炭高の激減

需要が 盛んであるかを語つて居るものであつて悪材料として憂へられて居た金融恐慌、紡績及び洋灰の生産制限等が昨今までは石炭の消費減退を導くに至らず加ふるに最近に於ては長江流域を中心とする支那市場への送炭順調のため本年

平署に警視

内務省案に關し 櫻村平署長語る

内務省は全國千二百の警察署長全部を警視とし警察行政の刷新を圖つて從來既發の事件にのみ主力を注いだものを將來は事件を未發に探查若しくは防止する事に留意しやうとの事にて明年

大立廻り

飲み仲間

石城郡内郷村大字白水不動澤炭礦伊坂飯場居住坑夫信夫仁作(三)及同加勢吉五郎

平町人事

出生

△南町十九 當時東京府北豐島郡岩淵町澤上勝衛氏長女光子

△田町七三 當時神奈川縣川崎市綿引功氏三男和美

△仲町十三 蕪賀助義氏四男四郎

△六人町十一 高島典次郎(八四)

△四丁目二四 阿部邦三(一七)

死亡

△南町十九 當時東京府北豐島郡岩淵町澤上勝衛氏長女光子

△田町七三 當時神奈川縣川崎市綿引功氏三男和美

△仲町十三 蕪賀助義氏四男四郎

△六人町十一 高島典次郎(八四)

△四丁目二四 阿部邦三(一七)